

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成24年3月1日(2012.3.1)

【公表番号】特表2011-511857(P2011-511857A)

【公表日】平成23年4月14日(2011.4.14)

【年通号数】公開・登録公報2011-015

【出願番号】特願2010-543413(P2010-543413)

【国際特許分類】

C 0 9 J 175/04 (2006.01)

C 0 8 G 18/10 (2006.01)

C 0 8 G 18/30 (2006.01)

C 0 9 J 11/06 (2006.01)

C 0 9 J 11/08 (2006.01)

C 0 9 J 175/08 (2006.01)

C 0 9 J 171/00 (2006.01)

A 6 1 L 24/00 (2006.01)

【 F I 】

C 0 9 J 175/04

C 0 8 G 18/10

C 0 8 G 18/30 Z

C 0 9 J 11/06

C 0 9 J 11/08

C 0 9 J 175/08

C 0 9 J 171/00

A 6 1 L 25/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成24年1月11日(2012.1.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

下記の物質を含む接着剤系：

A) 下記の物質から得られるイソシアネート基含有プレポリマー：

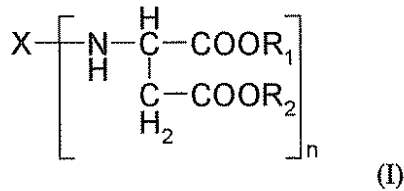
A1) 脂肪族イソシアネート；および

A2) 400g/mol 以上の数平均分子量および2～6の平均OH基含有量を有するポリオール；
および

B) 下記の物質を含む硬化成分：

B1) 一般式(I)で示されるアミノ基含有アスパラギン酸エステル：

【化 1】



〔式中、

Xは、n官能価アミンの第一級アミノ基の除去によって得られるn価有機基であり；

R₁、R₂は、ツェレピチノフ活性水素を含有しない同一または異なる有機基であり；

nは、少なくとも2の整数である〕；および

B2) DIN 53019によって測定された23における粘度10～6000mPasを有する有機フィラー；

および

C) 適切な場合に、成分A)の定義よりイソシアネート基含有プレポリマーと、成分B1)によるアスパラギン酸エステルおよび/または成分B2)による有機フィラーとの反応生成物。

【請求項 2】

A2)において使用されるポリオールが、数平均分子量4000～8500g/molを有することを特徴とする請求項1に記載の接着剤系。

【請求項 3】

A2)においてポリアルキレンオキシドポリエーテルを使用することを特徴とする、請求項1または2に記載の接着剤系。

【請求項 4】

使用される成分B2)の有機フィラーが、ポリエーテルポリオールであることを特徴とする請求項1～3のいずれかに記載の接着剤系。

【請求項 5】

請求項1～4のいずれかに記載の接着剤系の製造法であって、成分A)およびB)および任意にC)を、NCO反応性基/遊離NCO基の比率1:1.5～1:1で互いに混合することを含む方法。

【請求項 6】

請求項5に記載の方法によって得られ得る接着剤系。

【請求項 7】

細胞組織の閉鎖または結合用の薬剤の製造における、請求項1～4または6のいずれかに記載の接着剤系の使用。

【請求項 8】

請求項1～4または6のいずれかに記載の接着剤系の使用によって得られ得る接着フィルムおよび積層部品。

【請求項 9】

請求項1～4または6のいずれかに記載の接着剤系を含有する2室分配系であって、1つの室が、成分A)のプレポリマーを含有し、もう1つの室が、硬化成分B)および適切な場合にC)を含有する2室分配系。